

第18回 薪牧巻トリプルまきフェスタ

もり 森林の恵みを次世代につなぐ



町産業振興協議会（会長・鈴木重男町長）主催の第18回「薪・牧巻・トリプルまきフェスタ」が10月5日、くずま

き高原牧場で開催され、町内の林業関係者や小学生ら約160人が参加しました。開会式で鈴木町長は「町の魅力を再確認し、先人がつくり上げたものを次世代につないでいきましょう」とあいさつ。参加者は土谷川地区の町森林公園で木の伐採体験や薪運び体験を行いました。昼食には薪を使って炊いたご飯とカレーが振る舞われ、参加者は笑顔で味わいました。午後には第17回全日本薪積み選手権大会が開催され、積んだ薪の高さを競う小学生の部に11チーム、芸術性や安定性などを競う一般の部には6チームが参加しました。小学生の部は安定感のある薪積みを見せて181センチを記録した小屋瀬ミツキ5（葛巻地区森林愛護少年団）が1位に、一般の部ではテーマ「くずまき」にちなみ、牧場の牛を芸術的に表現した小岩金網株式会社チームが昨年に続き1位に輝きました。

参加者たちは1日を通じて森林の恵みの恩恵を受けながら、先人がつくり上げた町の魅力を学んだ様子でした。

第14回葛巻町和牛共進会

和牛産業の振興に大きな期待

10月9日、第14回町和牛共進会（同実行委員会主催）がくずまき高原牧場チャレンジハウスで開催され、生産者が手塩にかけて育成した33頭が出品されました。開会式で觸澤義美副町長は

「近年、畜産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。共進会を優良な和牛の育成に向けた情報交換や交流の機会となる大会としていきましよう」とあいさつし、出品者を激励しました。

審査は佐々木秋人審査員（全国農業協同組合連合会岩手県本部）が、未經産牛と経産牛合わせて5部門において厳正に行い、結果は未經産牛の部では千葉安雄さん（小屋瀬）が、経産牛の部では（株）岩次郎（東館優樹代表・吉ヶ沢）が名誉賞に輝きました。



①出品牛の審査の様子②牛の状態を手で確かめながら審査する佐々木審査員③名誉賞入賞者を囲んで記念撮影

千葉さんは「第一回から参加し、今回初めて名誉賞を受賞することができてとても良い日になりました」と受賞の喜びを笑顔で語り、東館さんは「忙しくても毎日牛の観察を欠かさないことが良い結果につながった。開催にあたり協力いただいた関係者の皆さんに感謝したい」と日頃の努力と感謝の気持ちを話しました。



未經産牛の部で名誉賞を受賞した千葉さん（円内）の出品牛



経産牛の部で名誉賞を受賞した（株）岩次郎の出品牛と東館代表（円内）

各部受賞者 （敬称略・★は名誉賞）

- ◆金賞1席
 - 【未經産牛の部】
 - ▼第1部（株）岩次郎
 - （東館優樹代表・吉ヶ沢）
 - ▼第2部 芳田聡（吉ヶ沢）
 - ▼第3部 千葉安雄（小屋瀬）★
 - 【経産牛の部】
 - ▼第4部（株）岩次郎★
 - ▼第5部 東館直樹（吉ヶ沢）
- ◆銀賞
 - 【未經産牛の部】
 - ▼第1部 林下芳行（江刈川）
 - 1席、下道初男（上外川）2席、馬淵司（田野）3席
 - ▼第2部 東館直樹（1席）、山本雄一（元木）2席、瀧渡俊也（吉ヶ沢）3席
 - ▼第3部 千葉安雄（1席）、松村文継（田代）2席、林下芳行（3席）
 - 【経産牛の部】
 - ▼第4部 上山秀司（吉ヶ沢）1席、馬淵司（2席）、下道彰洋（上外川）3席
 - ▼第5部 八幡勝幸（星野）1席、江田昭一（元木）2席、芳田聡（3席）